



Tohto University  
Sincerity with Compassion

# President's Newsletter

Vol.2 2024年7月18日

## 令和6年度全学FD多肢選択問題作成WSについて

### 教員が対象ですが、職員の皆さんもどうぞ

すでにご案内の通り、本年度の全学FDとして「令和6年度全学FD多肢選択問題作成WS(ワークショップ)」を行います。7月18日、本日より問題作成法の動画が配信されますので、教員の方は視聴するようにしてください。

教員が学生の『評価』について体系的に学ぶ機会が多くありません。様々な評価法がありますが、学生の成績のための評価の方法や特性を知らずに経験的にあるいは見よう見まねで行っている場合も見受けられます。



多肢選択問題は、多人数を対象に知識、あるいは知識の活用を、公平で客観的に評価することのできる一法です。言うまでもなく、国家試験にも採用されており、また科目試験等でも用いられます。学生にとっては、学内で使われる多肢選択問題が、国家試験と同質同様に作られていることは、国家試験への準備ともなります。もちろん、教員は教育目標に応じて他の評価法にも精通する必要がありますが、多肢選択問題で知識や知識の活用を評価する機会が多いので、全教員が適切に質問し、評価に活用できることは教員個人だけでなく本学の教育の質の向上に繋がります。このような背景により、毎年多肢選択問題のFDを行っています。対象は全教員です。今回で3回目ですが、以前に受講した先生も再確認とさらなる向上のためにビデオは視聴してください。そのうえで各学科のワークショップは、都合のつく先生にはなるべく参加いただければと思います。

本年度の全学FDは、各キャンパスのFD・SD委員会の全面協力の下、統一プログラムで行われます。7月18日から各教員が動画による多肢選択問題作成法と作成された問題の確認・校正・改良(ブラッシュアップ)法について研修していただき、8月から9月にかけて各キャンパス各学科で、自作問題のブラッシュアップをワークショップ形式で行っていただきます。実際に使用する問題作成となりますので、多肢選択問題の作成のコツを学びながら、国家試験にも使用できる質の高い問題が完成することになります。

なお、職員の皆さんは本学の教育の中で多肢選択問題作成を行う機会はないと思いますが、国家試験がどのように作られるのかを知る、あるいはお子さんの教育に使うなどのためにビデオ視聴することは良いことと思います。例題なども、医療に関わるものではなく誰でも考えられるような問題が含まれていますので職員の皆さんも是非動画をご覧ください。

\*詳細につきまして、職員の方は幕張キャンパス松浦までお問い合わせください。

学長 吉岡 俊正



**FD : Faculty Development** の略で、「教育内容・方法等をはじめとする研究や研修を大学全体として組織的に行うこと」を意味します。

**SD : Staff Development** の略で、「職員が大学等の運営に必要な知識・技能を身に付け、能力・資質を向上させるための研修のこと」を意味します。